「読み」に困難を感じている人への読書に関するニーズ調査
特定非営利活動法人バリアフリー資料リソースセンター（ＢＲＣ）

特定非営利活動法人バリアフリー資料リソースセンター（以下、ＢＲＣ）は、視覚障害やＬＤ・ディスレクシアなど、読書になんらかのバリアを感じている読者と、著者・出版社との橋渡しをする第三者機関として、2005 年 10 月に設立されたＮＰＯ法人です。アクセシブルな形式の電子データ（現在はおもにテキストデータ）を販売提供する事業をおこなっています。

財団法人車両競技公益資金記念財団からの研究助成を受け、2007 年度は「視覚に障害のある読者」を対象に、読書に関するニーズ調査を実施しました。

今年度は、「ＬＤ・ディスレクシア、発達障害などの理由から、読むことに困難を感じている読者」を対象に、読書に関するニーズ調査を実施し、あわせてそのような「読むことに困難を感じている読者」の指導・支援等をされている方たちへの調査をすることとなりました。

●この調査の目的は、大きく分けてつぎの２つです。

1. 「ＬＤ・ディスレクシア、発達障害などの理由から、読むことに困難を感じている読者」に対して、どのようなサポートや代替手段が必要とされているのか、または有効であるのか、を明らかにすること。

2. 調査の結果を集計・分析したうえで、一般に公開することによって、「読むことに困難を感じている読者」が世の中に数多く存在し、さまざまな方法による読書サポートが求められていることを広くアピールするとともに、著者や出版関係者などへＢＲＣ事業の必要性を訴えていくこと。

お手数をおかけしますが、以下に質問を用意しましたので、ぜひアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。

＊ＢＲＣおよび調査実施に携わる関係者一同は、個人情報についての秘密保持義務を持つため、回答者にとって不利益になるような情報が公開されることはありません。

＊調査の集計結果につきましては、ＢＲＣのウェブサイトで公開いたします。

＊質問項目については、できるだけ正直にお答えください。どうしても答えたくない質問やよくわからない質問に関しては、空欄のままで結構です。

【アンケートの〆切】2009 年２月 14 日（土）

【アンケートの提出先・問い合わせ先】
ＢＲＣ事務局
〒171-0031　東京都豊島区目白 3-21-6-101
brc2008d@dokusho.org
電話：03-3950-5260　ＦＡＸ：03-5988-9161
http://www.dokusho.org/

「読むことに困難を感じている読者」の指導や支援等をされている人へのアンケート

１．あなたのお立場（指導・支援をされている人との関係）について、具体的な職種・立場等を以下の例を参考にしてお答えください。

【例】保護者・または保護者に代わる人（兄弟・祖父母等）
教員（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学・特別支援学校・特別支援学級等）・塾講師等……言語聴覚士・心理士・学習指導員……

２．あなたが指導や支援等をされている人の「読みにくさ」の実態について、以下の例を参考にしてお答えください。

⑴「読みにくさ」の生じている場面について

【例】学校での授業（教科書や参考書）　学校での授業（板書・掲示物等）　学校でのテスト　役所や病院での用紙の記入　使用説明書・取扱説明書など　駅名など公共物等の掲示　新聞や雑誌の情報　学校や職場で配布されるお知らせ　一般的な読書

（３）「読みにくさ」が理由でお困りになっているのは、具体的にどのようなことですか。

【例】読書をあきらめてしまう　学習が遅れる　進学をあきらめる　就職できない　誤解をしやすい、または受けやすい　人付き合いなどで消極的になる　自信が持てない、自己有能感が低い　だまされやすい　社会の情勢にうとくなる

３.「読みにくさ」を軽減するために、おもにどのような方法をとられていますか。以下に書籍が「読みにくい」人が利用することによって、読みやすくするための代替手段や補助具を挙げてあります。（１）～（３）の質問にお答えください。

⑴ 知っている手段や補助具には〇をつけてください（複数回答可）

⑵ 実際に使ったことがある手段や補助具には◎をつけてください（複数回答可）

⑶ 将来使ってみたい手段や補助具には△をつけてください（複数回答可）

ａ）代読（他の人に頼んで読んでもらう）

ｂ）携帯電話などを使って人に聞きながら読む

ｃ）拡大鏡や拡大読書器を使い、読んでいる文章を拡大しながら読む

ｄ）スリットを使い１行だけ表示できるようにしながら読む

ｅ）定規（ルーラー）を使い、読んでいる行をわかりやすくしながら読む

ｆ）付箋を使い、読んでいる行をわかりやすくしながら読む

ｇ）蛍光ペンを使い、読んでいる行をわかりやすくしながら読む

ｈ）（ボランティア等が作成した）録音図書を聞く

ｉ）（ボランティア等が作成した）拡大図書を読む

ｊ）（ボランティア等が作成した）マルチメディアＤＡＩＳＹ図書を読む（聞く）
ｋ）本をスキャニングし、ＯＣＲソフトなどを使い作成したテキストデータを、自分にとって読みやすいレイアウトに変えながら読む
ｌ）本をスキャニングし、ＯＣＲソフトなどを使い作成したテキストデータを読み上げソフトで読み上げながら聞く
ｍ）特別なソフトウェアを使って読む
（ソフトウェア名：　　　　　　　　　　　　　　　　）
ｎ）その他（　　　　　　　　　）

４．「読みにくさ」を軽減するためにとられている方法・手段を取ったことで、ご本人にどのような変化がみられましたか。あるいは活動の範囲が広がりましたか。以下の例を参考にしてお答えください。
【例】授業で使う教科書が読みやすくなった　学校の授業で提出するレポートが書けるようになった　読書量が増えた　役所等での諸手続に必要な書類が読みやすくなった

５．図書館で提供されるサービスに関してお聞きします。
（１）活字による読書が困難な方に対し、図書館が録音図書や視聴覚資料等の提供を行っていることをご存知ですか？
a）はい
b）いいえ
（２）上記でa）はいとお答えいただいた方に質問します。
① 活字による読書が困難な方に対し、紹介したことがある図書館はどのようなところですか？
a）公共図書館
b）点字図書館
c）学校図書館
d）公民館図書室・その他の読書施設
② 下記の図書館で提供されているサービスのうち､利用をすすめたことがあるのはどれですか？
a）録音図書の貸し出し（本の内用を声に出して読み上げた図書）
b）ＬＬブックの貸し出し（内用を判りやすく書いた図書）
c）読み聞かせ・読書会（絵本や小説等を声に出して読み上げる集まり）
d）視聴覚資料の貸し出し（ビデオやＤＶＤ等）
e）その他（具体的にご記入ください）

６．読書に対する「きっかけ作り」や「動機付け」などで、工夫されていることがありましたらお書きください。

７．ＢＲＣへの要望や質問などございましたらお書きください。